

マキノスクールが提唱する持続可能な農業・農村開発とは…

農村の住民たちが未来に向かって希望を持ち続け、平和な共生社会を実現することです。そのための土台となる総合的な持続可能な農業・農村開発を学び、異文化・相互理解を深め、争いを起こさない平和な共生共存の実現を目指します。

村で開催された収穫感謝祭に参加



具体的には以下の点に重点を置いています。

- * 自然環境や健康を害する農業を否定し、総合的な環境保全型農業を目指す
- * 地域内で再生可能な資源の使用を促進する
- * 経済的生産ができる農業を目指す
- * オルタナティブマーケティングの推進・開発を行う
- * 農民の統合的収入の向上を促進する
- * 安全で健康なたべものに対する消費者の認識を高める
- * 有機農業組合の運営強化を目指す
- * 女性の社会参加と社会的地位の向上を目指す
- * 農村における普及教育を促進する



応募資格

- 入学時に満18歳～45歳で、国際協力、農村開発に興味がある高卒以上の男女。
- 学生の場合、1年間を休学できる者。
- 英語やヒンディ語を学ぶ意欲のある者。
- 文化の異なる人たちと共同生活をする意思のある者。
- 農作業に積極的な者。
- 心身ともに健康な者。

コース期間

- 2018年7月1日より2019年3月下旬まで

コース費用

- 2018年度の学費は600,000円です。学費には、寮費、一日3食分の食費、授業料、入学金、空港からの送迎、インド国内研修旅行費用などが含まれます。
- 日本とインド間の渡航費、学生ビザ取得費、海外旅行保険、小遣いは自己負担となります。

申込期限

- 入学願書および、その他の提出必要書類等は、2018年3月10日までに提出していただくようお願い致します。
- 入学願書は下記のNPO法人アーシャのHP上で入手し、Microsoft WordかPDF形式で記入のうえ、下記のメールアドレスに送付してください。
- 入学合格通知を受け取った方は、3月31日までに所定の口座に全額を振り込んでいただきます。



サム・ヒギンボトム農工科学大学継続教育学部

お問い合わせ E-mail: recruitment@ashaasia.org
HP: <http://www.ashaasia.org/>



[日本人学生用] 2018年度版

持続可能な農業・農村開発コース

Special Course in Sustainable Agriculture and Development (SCSAD)



サム・ヒギンボトム農工科学大学継続教育学部 (マキノスクール)



Makino School of Continuing & Non Formal Education (MSCNE)

Sam Higginbottom University of Agriculture, Technology & Sciences

(SHIATS), Allahabad, U.P. 211-007, INDIA

Phone: 0532-2684305 Fax: 0532-2684306

お問合せ : Email: recruitment@ashaasia.org

HP: <http://www.ashaasia.org/>

現場、実践、学び。

コースの目的

農村の草の根レベルで持続可能な農業・農村開発に従事する献身的な農村リーダー、NGOワーカーを育成すること。

コースの基本方針

本コースは、上記に述べた目的のもと、以下の2つの専攻に分かれています。

- 1) **持続可能な農業専攻**…有機農業を軸とした、野菜・作物栽培、小規模畜産、マーケティングなどを中心に知識・技術を学ぶ。
- 2) **農村開発専攻**…農村生活改善の為に必要な、栄養、農村保健、食品加工、および収入向上などを中心に知識・技術を学ぶ。

学習形態は、「座学」「実習」「総合的成長を促す学び」「特別カリキュラム」の4つに分かれています。

継続教育学部(マキ/スクール)とは



本スクールは、インド・ウッタルプラデシュ州アラハバード県にあるサム・ヒギンボトム農工科学大学の学部です。1976年、牧野一穂博士が、キリスト教の精神に基づきながら、農民のための実践中心のプログラムを始められ、その功績により、2001年に大学の継続学部として認められました。現在は、インドや近隣諸国の農村・農業開発に従事するワーカーの育成、アラハバード県の農村を中心に、持続可能な農業・農村開発、女性の地位向上、母子保健、収入向上などの開発事業を行っています。

(学部長 三浦照男)

カリキュラム

「参加型」「Learning by doing—実践に基づいた学び」「統合的な学び」「学び合い」を重視しています。

持続可能な農業専攻

有機農業/土壌/植物防疫法/稲作/栽培養魚/養鶏/園芸など(以上すべて座学)/農業実習(作物・野菜の栽培/炭作り/木酢液作り/農業微生物/自然害虫除去)/個人プロジェクト/その他



有機野菜栽培・アヒル水稲同時作



キノコ栽培

主な共通の学び

座学

有機農業/小規模自然畜産/開発論/農村プロジェクト運営/協同組合マネジメント/その他(コンピューター・英語など)



有機農業の講義



英会話・文法特訓

特別カリキュラム

農村ステイ・調査/NGO・施設見学/スタディツアー/特別イベント運営・参加(スポーツデー収穫感謝祭/国際交流)



農村ステイ・調査



学生企画学部スポーツデー

農村開発専攻

食品加工(小麦粉・食肉・野菜・果実・大豆加工/瓶詰め/パッキング/食品保存)/農村保健/健康調理/家庭菜園/協同組合シヨップ運営補助/農村調査/その他(裁縫技術基礎など)



フードフェア



農村の健康調理訪問

実習

基礎的な有機農業技術/キノコ栽培/自然養鶏/卵の孵化/農村収入向上プロジェクト(石鹼作り/スクリーン印刷)/商品開発



加工食品開発・販売



キノコ種菌作り

個々の総合的成長を促す学び

リーダーシップ/キリスト教理解/イベント主催・参加/責任やアカウンタビリティを身に付ける/共同生活を通して学びを得る



スタディーツアー



プレゼンテーション